

## 連載コラム

### ～ コーチングコミュニケーションが人を育てる ～ <第10回>

みなさん、こんにちは べ(@^ー^@)ノ  
ユッキーこと阿部侑生です。

わたくし相変わらず、様々な現場でコミュニケーションの研修をしておりますが、特に5～6月は新人研修がとても多い時期なのです。

なぜかというとな新人さんのモチベーションが下がる時期だからなんですね。考えてみれば新社会人は、入社した時、誰もが「元気玉」を持っています。しかし、なぜか日を追うごとに「元気玉」がどんどん奪われていくのです。

その理由はいろいろあると思いますが、ズバリ！関わっている環境にあるのでは、と私は感じます。例えば上司から、思い通りにならないイライラをぶつけられたり、思いやりのない一言を言われて傷ついたり。言っていることがコロコロ変わったり、職場の人間関係が悪い、など。周囲の先輩たちの言動に新人たちは結構振り回されているようです。

先日、某企業の新人さんに向けて、職場に出て1ヶ月を振り返る研修をする機会がありました。1ヶ月ぶり会った彼らは心も体も疲れ果てていました。すでに2名、職場を離れていました。

彼らは彼らなりに一生懸命がんばっているのに、現場では「やれて当然」「まだまだ」と言われるそうです。これでは心が折れますね。これでは元気玉がどんどん無くなります。

彼らと接していて思うことは、世の中には「みとめて、励ます」ことが足りなさすぎるということです。まずは、励ますこと、認めてあげることが上司や親の仕事なのではないでしょうか。結果を出したから「すごいね」と褒めるのではなく、「あなたが頑張っている姿を私はちゃんと見ているよ」と認めるから結果が出るのです。

それを裏付けるように彼らは言っていました。

「ちょっとしたことで、ほめられるとすごく嬉しいんです！また頑張ろうって思えるんです！」と。人は命令ではなく、承認で動くのです。

そして、自分が投げたのが相手から返ってくるのがコミュニケーションの特徴です。誰もがみんな頑張っています。頑張っていないように見えても頑張っています(笑) ほっこりボールをたくさん投げてみてはいかがでしょう(´▽`)/

#### ★今月のポイント★

頑張っている人には「頑張れ！」ではなく、「頑張っているね！」としてみる